

【報道関係各位】

2020年6月  
株式会社スクロール360

## アフターコロナで EC 物流が“激増!!” 膨大な出荷量をこなせる“新”物流センター

この度、株式会社スクロール360は「スクロールロジスティクスセンターみらい（SLCみらい）」を茨城県つくばみらい市に竣工、2020年5月より本格稼働を開始致しました。なぜ当社が首都圏にこだわりを持ったか。コーポレートミッションでもある**「次世代 CRM 物流**」とは何か。With/Afterコロナ時代に打ち勝つ、どんな状況下でも耐えうる通販物流とは何か。新センター「SLCみらい」と我々の通販物流への想いをお伝えします。

### 「SLC みらい」POINT

- ・首都圏に進出した理由
- ・With/Afterコロナ時代に打ち勝つ！どんな状況下でも耐えうる通販物流
- ・こだわりの自社設計で効率最大化
- ・**「次世代 CRM 物流**」とは
- ・特に「リピート通販」に強い設備満載
- ・業界初！？物流センターバーチャル見学

### ■スクロールロジスティクスセンター（SLC）首都圏初進出！



「SLC みらい」があるのは、現在人口増加が注目される首都圏のニュータウン「つくばみらい市」。つくばエクスプレス利用で東京から1時間圏内であり、圏央道と常磐道が交差する物流拠点としての好アクセス。大消費地首都圏への配送リードタイム短縮・コストダウンにも大きく貢献できることがメリットです。

そもそも当社の物流センターが首都圏に進出したのは、実際に既存クライアントからのご要望があったのもありますが、多くの

EC事業者様が求める**「コスト・品質（機能）・スピード」**のニーズに、より一層応えたかった想いがありました。

### ■全国拠点 × 分散出荷で“どんな状況下でも耐えうる”通販物流を

当社では、既存の物流拠点（東海エリア、関西エリア）に「SLCみらい」（首都圏エリア）が加わることで**全国3大拠点での物流ネットワーク**が構築されました。これにより最適な配送ネットワーク連携が可能となり、出荷スピードが格段に変わります。

例えば、単品リピート通販で成長している EC 事業者様でも、トライアル商品が届くまでに注文から 1 週間もかかっていることもあります。原因是、配送量の上限や物流センターのリソースなどですが、この問題を複数拠点に分散することで解決できるようになります。

さらに拠点を増設し分散化することは、BCP 対策にもつながります。昨今の感染症対策や台風・地震などの災害対策など**どんな状況下でも柔軟に対応できる経験・ノウハウ・最新鋭の設備が当社にあります**。是非ご安心して商品をお預けください。

## ■自社設計だから叶えられる、EC に特化した「効率最大化」



「SLC みらい」を竣工するにあたり、マルチテナントの物流施設を借りるという選択肢があった一方で、結果 60 億円という投資をして自社設計にこだわりました。それは**理想通りの通販物流**を叶えるためです。80 年の歴史を持つ通販会社を母体に持ち、そこで培った経験やノウハウをベースに、当社各グループ会社が求める通販物流へのニーズをとことん吸収し設計致しました。

例えば商品の保管、梱包の作業動線・精度、低コスト化、（1 日に平均の 3~4 倍の出荷など）急な波動吸収等といった通販物流に必要な対応はもちろん、自動化を取り入れて機能強化するだけでなく、当社では手作業のメリットを生かすことも重視しています。この**自動化と手作業のハイブリッド体制**で、当社の代名詞でもある「**おもてなし物流**」を提供することが可能になります。

## ■特にリピート通販に強い設備

また「SLC みらい」では、多種多様な商材に対応できる認可や資格取得し、最新鋭の設備を導入しています。

物流業務に加え、EC 業務やコールセンター等も併設予定。**フルフィルメントセンターとして完結できる**という強みもあることから、単品リピート通販（化粧品・健康食品）の事業者から特に問い合わせを多くいただいております。

### 【免許例】

- ・化粧品・医薬部外品製造加工許可  
(包装・表示・保管)
- ・高度医療機器・管理医療機器販売業許可

### 【導入設備例】

- ・オンデマンドプリンター（パリアブル印刷機）
- ・同梱物自動仕分機
- ・コールセンター併設（※予定）

## 「SLC みらい」で実現できる＜次世代 CRM 物流＞とは？

当社がこれまで提供してきたさまざまな業務をグループ企業も含めて統合し、網羅性のある CRM でおもてなしを追求することです。

購入者ごとの最適な同梱物、個別メッセージ封入でコミュニケーションを図る「物流 CRM」、新規獲得や CV 率の

向上につながる「マーケティング CRM」など部門別に分断されていた各 CRM を**ひとつのおもてなし CRM** として提供することで、購入者の顧客満足度をより高めていくことができます。

しかも当社はコンサルティングや提案だけではなく、そのまま一緒に走りながら事業者様と計画・実施が出来るので、これも他社との圧倒的な差別化ポイントになると自負しております。

## ■物流センター見学もバーチャル見学



当社では自社物流センターをバーチャル見学いただけるような仕組みを、6月に構築いたしました。現在も（コロナ禍の影響で）対面ができない状況は続きますが、やはり実際にセンター内の様子を見ないと商品を預けていただくことは難しいと思います。それにバーチャル視察を導入することで、見学に要する時間やコストも大幅に削減できるので、

- ・遠方などの理由で、直接見学が難しい事業者様
  - ・物流センター検討のスピード感を重視される事業者様
- にも是非ご覧いただきたいです。

今後「SLC miらい」の他、現在稼働中の他センターもバーチャルで見学いただけます。ご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

## ■ECシフト化の時代に勝ち残る、消費者との関係性構築を「SLC miらい」が叶えます！

この新型コロナウイルスの影響で、消費者の行動変容**«ECシフト»**が始まり、EC市場をとりまく環境は大きく変わりました。店舗中心の企業やメーカーがネット進出する動きも見られ、当社にも「通販立ち上げ」から「物流見直し」まで“コロナきっかけ”的お問い合わせが急増しました。

EC業界にはありがたい傾向ではありますが、購入者もECに慣れてくれば、おのずと見る目も厳しくなり、通販に対する要求のレベルも高くなります。だからこそ、今後は購入者を大事にしないとこの業界では生き残れないでしょう。

だからこそ、当社は「**EC事業者さまと購入者の架け橋になりたい**」と思っています。

そして「SLC miらい」は購入者との関係性を強化する動きができる物流センターです。

些細な質問でも構いませんので、まずはお気軽にお問い合わせいただけたらと思います。



### 【本件に対するお問い合わせ先／取材先】

株式会社スクロール360 営業部 鈴木康晴

住所: 東京都品川区東品川2丁目2番24号 天王洲セントラルタワー12F

TEL: 03-4326-3207 FAX: 03-5495-9185

Mail: eigyo@mb.scroll360.jp URL: <https://www.scroll360.jp/>